

日本共産党東京都議会議員（厚生委員）

藤田りょうこの都政報告



連絡先 藤田りょうこ事務所 大田区西蒲田6-34-7
☎ 3736-1494 fax 3735-4522

藤田りょうこ 検索

発行 日本共産党東京都議団 新宿区西新宿2-8-1 ☎ 5320-7270

第3回
定例会
9/3~9/18

第3回定例会を終えて

都民生活を守る都政に

羽田新飛行ルートは白紙撤回を

国は、これまで認められなかった都心の低空飛行を解禁する羽田新飛行ルートを、来年3月29日から運用を開始すると決定しました。これまで小池知事は「地元理解が前提」としてきましたが、共産党都議団の質問に対し、「国が理解したと判断した」として、責任逃れをしました。さらに、「国際競争力やオリ・パラ大会の円滑な運営を理由にすれば、なんでも許されるのか」との質問にも、

音防止、地域との共存を重視するのが世界の流れです。共産党都議団は、命と暮らしを無視した羽田新飛行ルートの白紙撤回を、引き続き求めてまいります。

カジノは誘致すべきではない

共産党都議団の調査により、都がカジノを含む総合リゾート・IRの導入を、場所やスケジュールについて具体的に検討していることが明らかになりました。わが党はその事実を示し、カジノ誘致の検討中止を迫りました。

が、知事はIRのメリット・デメリットの検討を行う、というごまかしの答弁をしました。しかも、わが党の情報公開請求で出された資料の多くが黒塗りです。都合なことが都民の目に触れないようにするものと、ここ数年充足率は9割前半であり、民生委員のなり手不足が深刻です。

民生委員の活動支援を

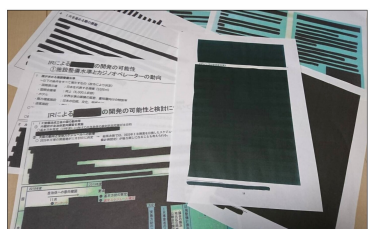
なり手不足が深刻

今年12月は、民生委員が一斉改選されますが、全都の定数を37名増員する条例案が、都議会に提案されました。

地域の困りごとや孤立による問題解決などに、民生委員の活動は欠かせません。しかし、私が提出を求めた資料による

私は民生委員の活動がしやすくなるよう、児童虐待や経済的困窮・引きこもりなど、あらゆる相談の窓口となる「地域福祉コーディネーター」を配置する区市町村への支援を、東京都から行うよう求めました。

であり、情報公開、都政の透明化を進めると言ってきた知事の公約違反ではないかと追及しましたが、知事は答弁さえ行いませんでした。



【写真】都の開示した黒塗り資料＝「都職員によるイギリス視察時のギャンブル依存症対策資料」

台風15号

島しょ地域に支援の強化を申し入れました

台風15号による島しょ地域の被害対策について、共産党都議団は9月10日、いち早く都に申し入れを行いました。16日には大島町へ調査に向かい、数百戸の家屋が被害を受けていたことなどを把握し、17日には直接小池知事に緊急に支援の強化・拡充を申し入れました。

その後10月1日に大島町、2日に新島村へ行き、一部損壊と認定された家屋でも被害が広がっていたり、集落に1件しかないお店や歯科が再開できていないなど、長期的な支援が必要であることもわかりました。引き続き住民の方が必要な支援について把握し、補正予算を含め、都としての対応を求めてまいります。



条例審査で質疑する藤田都議
9月12日、厚生委員会

今年12月は、民生委員が一斉改選されますが、全都の定数を37名増員する条例案が、都議会に提案されました。

私は民生委員の活動がしやすくなるよう、児童虐待や経済的困窮・引きこもりなど、あらゆる相談の窓口となる「地域福祉コーディネーター」を配置する区市町村への支援を、東京都から行うよう求めました。



【写真上】小池都知事への申し入れを行う日本共産党都議団（9月17日）【写真下】大島町の都立大島海洋国際高校の現状（9月16日）

都議会
災害対策
について
文書質問

停電時も命を
守れる東京都に
自家発電装置の整備は急務

在宅で人工呼吸器を使用している方は、難病だけではありません。しかし、国の「非常用電源設備整備事業」の対象は難病のみとなっていました。東京都は独自に制度の拡充を行ってききましたが、難病以外では「個別支援計画の策定」を自治体に義務付けているために、計画の策定が進まない昭島市では、地元の医療機関が2年以上前から、自家



西馬込駅近くの都有地に駐輪場ができます

昨年、「西馬込駅の安全と環境を考える馬込住民の会」のみなさんは、「西馬込駅付近に駐輪場の増設を求める陳情」を地元大田区に提出され、都に対しても整備促進の協力を要望しました。私は議会で

も近隣の都有地活用などできる限りの協力を依頼し、都は「可能な限り協力する」と答弁していました。こうした住民のみなさんの願いが実現し、来年1月6日完成予定で、都有地に駐輪場が作られることになりました！

今回は小さなスペースのため15台というものですが、今後もさらなる増設のため、私も地域のみなさんとともに頑張りま



【写真上】地元の皆さんと整備予定地を視察する藤田都議（10月2日）【写真下】地元のみなさんと共に東京都議（右側）に要請する藤田都議（昨年12月17日）

ME/CFSも治療の時代へ

筋痛性脳脊髄炎（ME）をご存知ですか？日本では慢性疲労症候群（CFS）と呼ばれ、誤解を招いてきましたが、今では両名併記されることが多くなっています。2014年厚生労働省の委託調査で、ME/CFSと診断された方の約3割が寝たきりの状態であり、子どもでも発症していることがわかりました。

ME/CFSの中核症状は、日常生活における最小限の活動や簡単な作業などによってさえ、著しく急激に症状が悪化して身体が衰弱し、回復が非常に困難なことです。国内にはおよそ0.1%の患者がいると推定されています。

ME/CFSは、1969年よりWHOで神経系疾患に分類されていますが、客観的な診断基準が無いことから、日本で

は指定難病になっていません。それどころか、正しく診断ができる医師が少なく、障害者として認められなかったり、必要な支援が受けられなかったりしています。

私は9月28日、ME/CFSの会理事長の篠原三恵子さんにお話を伺ってきましたが、東京都には正確な情報発信をしてもらいたいと話されていました。



写真は左から「ME/CFSの会」理事長 篠原三恵子さん、藤田都議、原都議（9月28日）

都内の医療機関職員から要望を聞く藤田都議（9月19日）



大田区内の都立施設紹介 都立城南職業能力開発センター（本羽田）

本羽田には、「都立城南職業能力開発センター」があります。ここには「エンジンリア養成科」「金型加工科」「3D・CAD・CAM科」「広告美術科」「板金溶接科」「調理科」「施設整備科」と

いう7つの学科があり、養成期間は2年・1年・6か月・3ヶ月過程となっています。魅力的なのは、授業料が年間約12万円ということ。さらに6か月・3ヶ月過程は無料で、貸付資金制度を使ったり収入などによって授業料が免除されたりします。申し込みは学校に直接、もしくはハローワーク経由です。

9月2日に都議団で視察をさせていただきましたが、調理科では高齢者施設や障害者施設の調理師として働くことができますよう、ミキサー食やペースト食などの作り方も学んでいるとのことでした。専門的な技術が習得できることや、現場のニーズが高いことから、就職率はほぼ100%！しかし、生徒が少ないという課題もあり、もっといいなど感じました。エンジンリア養成科は35歳まで、その他は一般向けというものです。ぜひ多くの方に利用してほしい施設です。



城南職業能力開発センターの調理科の先生から聞き取りする藤田都議（中央）と尾崎都議（9月2日）

●1974年8月11日生 東京都大田区出身 ●1996年東京都立医療技術短期大学看護学科卒 20年間、看護師として従事 ●2017年、東京都議会議員選挙に初当選 都議会厚生委員 ●池上在住

都政へのご意見、ご要望をお寄せください